

【1 分解説】ウェルビーイング経営とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究理事 村上 隆晃

ウェルビーイング (Well-being) 経営とは、従業員の健康や心理的な幸福感、仕事へのエンゲージメントを高めるための組織的な仕組みを整えることで、結果として従業員の生産性や創造性を高める経営手法を指します。

ウェルビーイング経営に注目が集まったきっかけの一つとして、厚生労働省が「雇用政策研究会報告書」(2019年7月)で、ウェルビーイングの向上と生産性向上の好循環を提言したことが挙げられます。最近では経済産業省が「人的資本経営の実現に向けた検討会報告書～人材版伊藤レポート2.0～」(2022年5月)で「経営陣は、中長期的な企業価値の向上につなげる観点から Well-being を捉え、それを高めるために、個々の企業の状況に応じて、多様な人材が能力発揮できる環境の整備や、自律的なキャリア形成の促進等の試行錯誤を重ねる」ことを提言するなど、人的資本経営の観点からもウェルビーイング経営の考え方に注目が集まっています。

ウェルビーイング経営の広がりが働く一人ひとりの多様なウェルビーイングの向上に繋がるとともに、企業価値の向上を通じて日本経済の持続的な成長の後押しとなることを期待します。

関連レポート

- ・「Well-being 経営に役立つ心理的資本」(2022年3月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/183742.html>
- ・「人生100年時代のQOL『働きがいのマネジメント指標「心理的資本」』」(2020年5月)
https://www.dlri.co.jp/pdf/dlri/04-20/2005_a.pdf